

21015057
佐々木花純

2016 年度

韓国派遣留学報告書

実習先：慶熙大学校

実習期間：9月3日（土）～12月24日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号 21015057
佐々木花純

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3
	4 - 1 留学のスケジュール	3
	4 - 2 留学の詳細	4
5	所感	6
6	おわりに	6
	謝辞	6

付録

.....	7
-------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：慶熙大学校 国際教育院 韓国語教育部

留学期間：平成 28 年 9 月 5 日（月）～平成 28 年 12 月 16 日（金）

※帰国は 12 月 24 日（土）

2 留学先概要

(1)大学について

慶熙大学校は、韓国の首都であるソウル特別市の東大門区にある。ソウルは歴史的な建造物と現代的な建造物が融合している都市である。慶熙大学校は、60 年以上の歴史はある私立大学である。ソウルキャンパスだけでなく、水原キャンパスと光陵キャンパスがあり、合わせて 23 の学部と 90 の学科がある。

(2)大学で行われている教育について

慶熙大学校は、多くの国や大学と姉妹交流をしており、国際教育院による韓国語教育は韓国内でもトップクラスである。事前テストによりそれぞれのレベルに合ったプログラムで学ぶことができる。

また、韓国語学習以外に、留学生でも韓国文化体験やテコンドーサークルなどに参加することもできる。

3 留学目的

今回の留学の目的は、2 つある。一つ目は、語学の向上である。1 年生の後期と 2 年生の前期を合わせて約一年間、大学で韓国語を学習してきた。しかし、週に 3 回の授業であるため、実践できる韓国語の習得にはまだまだであると感じていた。そのため、毎日韓国語を使わなければならない環境で「聞く、話す、書く」を並行して学習したいと思った。

二つ目は、卒業論文のテーマの参考になることを見つけることである。国際学部で韓国語を学んでいるため、卒業論文は韓国について書きたいと思っている。しかし、書きたい内容ははっきりとは自分の中になかった。日本でも論文について考えることも可能だが間接的な情報のみになる。韓国の人や土地の雰囲気を感じて、論文のテーマを考える上での参考にしたいと思った。

以上の 2 点を今回の留学目的とした。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

1) 授業時間

午前（月～金曜日）：韓国語の授業 9時から13時まで 50分授業×4コマ

午後（月～木曜日）：14時10分～16時まで ※NUISの学生のみ

- 一(月) 韓国の映画
- 一(火) 特別講義
- 一(水) 韓国の歌
- 一(木) セミナー

2) 授業

◆9月5日(月)～9月23日(金) ※9月10日(土)も授業
夏休みの3週間プログラム

◆9月26日(月)～9月27日(火)
3週間プログラムの復習や補てん

◆9月28日(水)～12月7日(水)
秋期プログラム

◆12月8日(金)～12月16日(金)
韓国能力試験(TOPIK)の特別授業

3) 現地学習

3週間プログラムで2回(日帰り)
秋期プログラムで1回(1泊2日)

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

午前の授業

i) 9月5日(月)～9月23日(金)

初級1のクラスに配属され、1クラスは13人程度である。クラスのほとんどが日本人である。授業は文法、スピーキング、リスニングの3つに特化して行われる。

ii) 9月26日(月)～9月27日(火)

NUISの学生のみでの授業。3週間プログラムで行えなかった部分についての補講。さらに、リーディング、ライティングについての授業も行った。

iii) 9月28日(水)～12月7日(水)

初級2のクラスに配属される。3週間プログラムとは違い、様々な国籍の生徒で構成されている。1クラス13人程度。1、2時間目は毎日文法の授業。3、4時間目はリスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの授業が日替わりで行われる。

iv) 12月8日(金)～12月16日(金)

NUISの学生のみで行われる。TOPIKの過去問1回分を一日で行う。

午後の授業

v) 韓国の映画

字幕なしの韓国の映画を2週で1本見る。見た後には、感想文を書いたり、発表したりする。映画の中に出てくる難しい単語や表現などは先生が適度に解説して下さる。

vi) 特別講義

韓国の文化に関わっている方々のお話を聞いたり、伝統楽器の演奏やK-POPダンスを実際に体験したりする。

vii) 韓国の歌

学生が好きな韓国語の歌を1人1つ選んで、その歌について紹介する。その後、その歌の歌詞を先生が説明し、全員で歌う。

viii) セミナー

前半の5回は与えられた韓国についてのテーマをチームごとに調べ、発表する。後半の7回は韓国について、個人でテーマを選び、発表する。発表前に、パワーポイントや原稿を先生に提出して、チェックしてもらう。

現地学習

ix) 9月8日(木)

民俗村、利川陶芸村、慶熙大学国際キャンパスを回った。民俗村では、事前に与えられた撮影スポットでの写真を撮るミッションを行ったり、韓国の馬術の公演を見たりした。利川陶芸村ではマグカップの絵付けとお皿づくりを体験した。慶熙大学国際キャンパスはバスに乗ったままの見学だった。

x) 9月14日(水)

国立中央博物館、Nソウルタワー、ナンタを観覧した。国立中央博物館では韓国だけでなく世界の美術作品や資料を見ることができた。Nソウルタワーでは展望台で韓国の街並みを見渡した。ナンタというエンターテインメントの公演を観覧した。

xi) 11月6日(土)、7日(日)

1日目はソラク山を登る予定だったが、当日は雨が降ったため、散策となった。夜はホ

テルでレクリエーションが行われ、クラスの友人たちと親睦を深めることができた。2日目は海を散策した。浜辺や岩場で自然を楽しむことができた。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)語学力の向上

留学の前後における正確な比較ができるテストなどの点数はないが、実感としてはバランスよく韓国語の力が身についたと思う。まず、聞き取りの力がついた。全ての授業が韓国語のみで行われるので、聞く（リスニング）授業以外でも常に耳に韓国語が流れてくる。次に話すこと、読むことが出来るようになってきた。授業中の答え合わせや発表、先生への質問など自分の考えや思いを韓国語で伝えるという機会は明らかに日本にいるときよりも増えた。教科書も韓国語を韓国語で説明してあるため、積極的にハングルに触れることができた。書くことは、一番力を伸ばすことが難しかった。日記や感想文を書く宿題は、個人的な文法や単語のつづりのミスなどに気づくことができた。しかし、まだまだ実践不足が否めない部分である。

ii)卒業論文のテーマの参考

日本語と文法が似ている韓国語であるが、表現の違いや助詞の使い方の違いなどを授業から学ぶことができた。また、NUISの学生のみで行った午後の授業では、歌や映画、特別講義などを通して韓国の人々の習慣や考え方を知ることができた。語学や文化など色々な分野の発見があった。卒業論文でこの留学で得た考えを活かすことができるだろう。

6 反省・課題

約4か月の留学では得たものも多いが、弱点に気づいた。他国の生徒たちと学ぶなかで受動的になっている点はすぐに分かった。分からない部分を質問することに恥ずかしさや申し訳なさを感じていた。他国の生徒と見習うことで徐々に積極的になれたが、もっと学習するうえでは図々しさが必要だと思った。

帰国して、韓国語に触れる時間が急激に減った。韓国では授業が与えられていたが、急に個人学習になったため仕方がないことではある。しかし、これからはTOPIKや再び韓国に留学したいなどという目標ができた。その他の勉強もしなければならないが、韓国語を中心とした学習スタイルをしていきたいと思う。

謝辞

今回、留学で担当してくださったキム・スンミン先生、イム・ジウン先生、パク・サンウン先生、生活面や特別講義でサポートしてくださった川上洋子さん、その他大勢の皆様

21015057
佐々木花純

に深く感謝申し上げます。また、留学前の準備をサポートしてくださいました申銀珠先生、吉澤文寿先生、朴修禧先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、金銭負担が軽減し、充実した留学が実現できたことを心から感謝いたします。

付録：留学日誌

9月5日 月曜日
初登校
担当 キム・スンミン先生、パク・サンウン先生、川上洋子さん
内容 ・ 寄宿舎から大学まで川上洋子さんと登校 ・ クラス分けテストを受ける ・ 学校の説明や必用書類の確認

初登校の内容

初登校のため、生徒全員で川上さんと通学路を確認した。通学時間は徒歩約 10 分。文章を書くというクラス分けテストを受けたが、口頭試験は NUIS の生徒のみ行わなかった。先生方から、学生証や銀行口座開設、外国人登録証に必要な書類の説明を受け、記入や提出をした。

9月7日 火曜日
授業開始
内容 ・ クラス発表 ・ 初授業 ・ 銀行の口座開設

初授業の内容

少し早めに学校に行き、掲示されているクラス分けを確認し、それぞれの教室に移動。クラスはほとんどが日本人だった。授業内で自己紹介などをして、教科書を使った授業が始まった。日本で行った内容のため、難しくなく復習のような授業だった。午後は口座開設のため銀行に行った。昨日書いた資料を提出したが、人数が多かったためデビットカードを受け取れるまで2週間程度かかるとのこと。

9月8日 水曜日
午後の授業が開始、会食
担当 イム・ジウン先生
内容 ・特別授業「韓国の余暇の過ごし方」 ・先生方との会食

午後の授業、会食の内容

今日から、午後の NUIS の生徒のみの授業が始まった。一回目は特別授業「韓国の余暇の過ごし方」についてだった。午前中の授業とは違い、知らない単語がたくさん出てくるが、パワーポイントや黒板などで丁寧に教えてくださった。

夕食は、日本からいらっしゃった申銀珠先生と朴修禧先生、さらにキム・スンミン先生、パク・サンウン先生、川上洋子さんと一緒にパジョン（チヂミ）店で会食を行った。これから、韓国で留学生活を送るという気持ちがより強まる会だった。

9月9日 木曜日
現地学習
担当 ペク・スンオク先生
内容 ・慶熙大学国際キャンパス ・民俗村 ・利川陶芸村

現地学習の内容

バスに乗り、現地学習に行った。国際キャンパスにはバスに乗ったまま敷地内を回った。その後、民俗村に到着し、前日にミッションとして与えられた撮影スポットで写真を撮った。昼食後は利川陶芸村に行き、マグカップの絵付けとお皿づくりをした。

9月10日 金曜日
トウミ (チューター)
内容 ・連絡先の交換

トウミの内容

韓国の学生生活における韓国人の友人を紹介してくれるトウミ制度。クラスで申し込む必要はなく、NUISの生徒は既にトウミの申し込みが済んでいた。初日は、休み時間に担当のトウミの人が教室を訪ねに来てくれる。簡単な自己紹介とラインやカカオトークでの連絡先を交換した。

9月13日 火曜日
特別講義 韓国文化
内容 ・韓国のマナー ・韓国の食べ物 ・韓服

現地学習の内容

韓国の挨拶の仕方や食事のマナーをまず習った。目上の人、友人など相手によって使い分けなければならない韓国特有の言葉や行動を日本と比較しながら学んだ。また、韓国の祝日で食べられるものや家庭料理の名前を当てるクイズを行い、韓国の伝統料理を学んだ。最後に、韓服の着付け体験をした。二人一組で着付けを習った。日本の着物とは違い、少し練習すれば一人でも着ることができるようになる。

9月14日 水曜日
現地学習
担当 イム・ジウン先生
内容 ・中央博物館 ・「ナンタ」観賞 ・Nソウルタワー

現地学習の内容

中央博物館では韓国だけではなく、世界の美術品や歴史的な資料を見ることができた。「ナンタ」は料理人たちの物語を打楽器のパフォーマンスを中心にした公演であった。外国人にも分かりやすいように英語が使われていたり、ジェスチャーが多かったりと初級レベルの韓国語でも楽しめる公演だった。N ソウルタワーでは最上階の展望台でソウルの街並みを眺めることができた。

9月20日 火曜日
特別講義 テコンドー
内容 ・テコンドーとは ・基本の姿勢、形 ・2人ずつでの練習

内容

まず、最初に映像でテコンドーがどういうものなのかを見た。一般的なものや劇が組み合わさっているもの、K-POPにあわせているものがあった。準備体操をした後、テコンドーの基本姿勢や呼吸法を教わった。形は手で行うものだけでなく、足を上げたり、踏み出したりするものも多くあった。最後に二人一組で教わった形で攻めと守りの練習をした。

9月22日 木曜日
3週間プログラム 授業最終日
担当 ペク・スンオク先生
内容 ・クラスメート、担任の先生への手紙 ・韓国語復習ゲーム

内容

教科書を使った授業は昨日で終わり、授業最終日はクラスメートと担任の先生へ手紙を書いた。習った表現や辞書を使いながら、全員分を書いた。後半は、初級1で習った韓国語を覚えているかをゲームで復習した。3人ずつに分かれて、チームごとに戦った。

簡単な問題だったが、自分が忘れやすい、間違いやすい部分を発見することができた。

9月23日 金曜日
3週間プログラム 修了式
担当 ペク・スンオク先生
内容 ・修了証書授与 ・写真撮影

内容

修了式のみで授業がないため、いつもより1時間遅い登校だった。NUISの学生はまだ留学プログラムが終わっていないため、修了証書は受け取れなかった。

最後はクラスメートや先生たちと記念撮影をして終了した。

9月27日 火曜日
特別講義 国際教育院院長先生のお話
内容 ・韓国語の仕組み ・雑談

院長先生のお話の内容

まず、院長先生から韓国語のなかで特徴のある単語についての説明を聞いた。一つ
の中心となる単語から派生した単語があるという内容だった。難しい単語もあったが
川上洋子さんが適時、通訳してくださった。その後、院長先生と好きな韓国の歌手な
どを質問されたり、院長先生の交友関係の話を伺ったりした。

9月28日 水曜日
秋期プログラム開始
担当 ハン・ジョンヨン先生
内容 ・クラス発表 ・自己紹介 ・授業の説明 ・入校式

秋期プログラムの初日の内容

今日から、秋期プログラムが始まるため少し早めに登校し、掲示されている表でクラスを確認して、教室に行った。NUIS の学生は初級 2 のクラスだった。今回のクラスは 13 人中、日本人半分、他国の生徒半分くらいの割合だった。初日だったので自己紹介から始まり、先生からこれからの授業の内容についての説明があった。その後、別の建物で全生徒での入校式が行われた。

9 月 29 日 木曜日
セミナー 「韓国の伝統祝日及び年中行事」
担当 キム・スンミン先生
内容 ・担当チームの発表 ・キム・スンミン先生による解説

セミナーの内容

今日は、「韓国の伝統祝日及び年中行事」についてだった。まず、担当のチームが調べてまとめたことについての発表を聞いた。その後、先生が補足や解説、生徒の発表の訂正などを行った。韓国では、暦による伝統的な祝日がある。日本と似ているものが陰暦による細かい風習も多く残っている。祝日に食べる食べ物も様々であった。

10 月 4 日 火曜日
ハングル清書大会
内容 ・開会式 ・文章の清書 ・レクリエーション ・表彰式

ハングル清書大会内容

学校から歩いて 2、30 分の場所にあるハングル記念館に行き、大会に参加した。開会式の後、手本の文章を見ながらマーカーペンで文字を清書した。審査を待っている間は司会者によるレクリエーションが行われ、ゲームの参加者などにはお菓子や商品券が配られていた。表彰式では日本人や中国人が多く受賞していた。NUIS の学生も多く受賞した。

10 月 5 日 水曜日

Hello Mr. K
内容 ・公演

Hello Mr. K の内容

1、2 時間目は通常の文法の授業を行い、3、4 時間目に別館に行って公演を見た。K-POP アイドルや伝統楽器、伝統舞踊さらに先日テコンドーの授業のときに映像で見た K-Tiger の公演を生で見ることができた。

10月6日 木曜日 午前
新しいトウミ (チューター)
内容 ・連絡先の交換

内容

最初のトウミとは3週間プログラムと同時に終了した。人によっては引き続き同じ人の場合もあるが、秋期プログラムから新しいトウミになる人がほとんどだった。前回と同じように教室を訪ねに来てくれ、連絡先の交換や自己紹介などをした。

10月6日 木曜日 午後
セミナー 「韓国人の特性および人間関係」
担当 キム・スンミン先生
内容 ・前回の復習 ・担当チームの発表 ・先生による解説

セミナーの内容

最初に前回習った「韓国の伝統祝日及び年中行事」についての簡単な復習テストを行った。その後、担当チームの発表が行われ、質疑応答などもあった。先生による補足や解説もあった。韓国人の人間関係の考え方は日本よりも密接感があるように思えた。また、男性は兵役なども上下関係の考え方に影響しているようだ。

10月11日 火曜日
特別講義 サムルノリ

担当 サムルノリ同好会の皆さん
内容 <ul style="list-style-type: none">・基本のリズム練習・セリフの練習・セリフも交えての演奏

サムルノリの内容

サムルノリという韓国の太鼓を使った伝統音楽を体験した。講師として慶熙大学のサムルノリ同好会の学生3人が来てくださった。まず、太鼓のばちの持ち方を覚えた後に、基本の4つのリズムを覚えた。手本を見ながら、繰り返し練習し4つのリズムを打ち分けられるようになった。サムルノリは農作業の時に歌われていたため、それに関するセリフ（かけ声）があり、それも練習した。セリフの意味も丁寧に教えてくださった。最後には、かけ声も合わせて全員で演奏した。短時間ではあったが、まとまった演奏ができた。

10月12日 水曜日
ハングル博物館
担当 川上洋子さん
内容 <ul style="list-style-type: none">・伝統楽器の演奏を鑑賞・博物館を見学・タルチュムを踊る

ハングル博物館の内容

NUISの学生と近畿大学の学生で、ハングル博物館に行った。まず、慶熙大学とハングル博物館との式典に参加し、伝統楽器の演奏を鑑賞した。次に博物館を案内係の説明で見学した。ハングルのできた歴史について映像や資料で知ることができた。案内係の方は日本語が堪能ですべて日本語によって解説してくださった。最後に、タルチュムという韓国の伝統的な踊りを踊った。「タル」はお面という意味で、お面を使い、赤ちゃんから歳を重ねていく様子を表現した踊りである。飛び跳ねる動きが多くみんな楽しく踊った。

10月13日 木曜日
セミナー 「韓国の食べ物と食事マナー」
担当 キム・スンミン先生

内容

- ・ 前回の復習
- ・ 担当チームの発表
- ・ 先生の説明

セミナーの内容

授業の初めに前回の「韓国人の特性および人間関係」の復習テストを行ってから、担当チームが「韓国の食べ物と食事マナー」について発表した。韓国の食べ物は料理方法や味が多様である、地域や季節のものがあるなど日本に似ている点が多くあった。しかし、唐辛子を使ったものが多いという生活でも感じる韓国の特徴もあった。食事マナーは、茶碗を持たないことやお酒の飲み方などが日本と異なり面白いとおもった。

10月18日 火曜日

特別講義 韓国の伝統的な遊び

内容

- ・ コンギ
- ・ ユンノリ
- ・ チェギチャギ
- ・ タッチチギ

韓国の伝統的な遊びの内容

韓国の伝統的な遊びの中で今日は4つを体験した。一つ目はコンギである。コンギは5つの玉を使い、手の器用さがポイントの遊びであった。二つ目はユンノリである。ユンノリは5つの木の棒を投げ、棒の表や裏の出方によって駒を進める双六のようなものだった。チーム戦で行うもので技術などは要らないのでみんなで楽しく遊ぶことができた。チェギチャギは、チアリーダーが持っているボンボンのようなものを片足で何回蹴れるかという日本の鞠のような遊びだった。ボールと違い丸くないのでみんな蹴りづらそうだった。最後にタッチチギをした。これはメンコと同じルールの遊びで、相手のメンコを裏返しにするというものだった。折り紙でそれぞれメンコを作って行った。メンコをあまりやることがないため、時間内で成功した人は誰もいなかった。

10月20日 木曜日

セミナー 「韓国の住居文化と結婚文化」

担当 キム・スンミン先生

内容

- ・復習テスト
- ・担当チームの発表
- ・先生の解説

セミナーの内容

前回のセミナーの復習テストをしてから、担当チームが発表した。韓国の住居文化では、オンドル（床暖房）や浴室が自宅にあまりないことなどが分かった。また、防犯上の理由で一軒家よりもマンションを希望する人が多いことも特徴的であると感じた。結婚文化で一番日本と異なると思った点は、結婚式に親戚だけでなくその友人たちなど新郎新婦の知人以外にも多くの人々が参列するという点だ。一方で、子供を持たない夫婦が増えているなど似ている点もあった。

10月25日 火曜日

特別講義 K-POP ダンス

内容

- ・ダンス練習
- ・通しでのダンス

特別講義の内容

外国語大学の近くにあるダンス教室でダンスを教わった。i.o.i というグループの「very very very」という曲だった。3時間しかなかったのでサビまでの振付しかできなかったが、時間差で動くところなど実際のグループのようなダンスを教えてくださいました。

10月31日 月曜日

中間テスト

担当 ハン・ジョンヨン先生

内容

- ・文法
- ・リーディング
- ・リスニング
- ・ライティング

中間テストの内容

中間テスト一日目は、4つの科目だった。授業の復習をして、臨めば難しい問題はなかった。

11月1日 火曜日
中間テスト
担当 キム・スオク先生
内容 ・勉強時間 ・スピーキング

中間テストの内容

1、2時間目は前日のテストの解説とスピーキングの勉強を行った。3、4時間目はスピーキングのテストで先に先生と一対一で行う個人テストを行った。待っている間は、2人組で行う会話テストの文章づくりとその練習をしていた。2人組で行う会話テストはクラスメートの前で行い、文章はすべて暗記だった。お題はくじ引きで決まり、辞書や教科書の持ち込みは不可だったため、一番難しいテストであった。

11月6日 日曜日
現地学習
担当 キム・スオク先生
内容 ・博物館 ・ソラク山記念館 ・ソラク山 ・レクリエーション

現地学習の内容

ソウルを出て、ソラク山へ向かった。まず、博物館で韓国の昔の生活などの展示を見学した。雨が降っていてソラク山の本来のコースへ行くことが困難だったため、予定されていなかったソラク山記念館へ立ち寄り、その後近くのお店で昼食をとった。昼食後はソラク山に行き散策をした。雨が降っていたが紅葉がまだ残っていた。昼食と同じお店で夕食も食べ、ホテルへ向かった。部屋に荷物を置いたあと、レクリエー

ションが行われた。○×ゲームや人数ゲームなどみんなで楽しめるゲームだったので先生も生徒もより親しくなれた。

11月7日 月曜日
現地学習
担当 キム・スオク先生
内容 ・海

現地学習の内容

秋の海に行った。波が強く迫力があつた。浜辺ではみんな砂に足がとられ歩くのが大変そうだった。その後、昼食にビビンバを食べて、学校に帰った。

11月10日 木曜日
特別講義 韓国・ソウルについて
担当 パク・ギテさん
内容 ・食べ物 ・観光 ・歴史

特別講義の内容

ソウルの観光に尽力されているパク・ギテさんからお話を伺った。韓国の食べ物は「薬食同源」という言葉で表され、食べ物は薬と同じくらい重要であるということを知った。ソウルは地下鉄を利用すれば、一時間で山、河、海に行くことのできる都市であることを強調して教えてくださった。授業だけでは知ることのできないソウルの観光的魅力を知ることができた。

11月22日 火曜日
「JUMP」観覧
担当 パク・サンウン先生
内容

・公演の観賞

特別講義の内容

「JUMP」という公演を観覧した。アクロバティックなテコンドーが主となった公園だった。

11月29日 火曜日

日中韓ハーモニー

内容

・発表の見学

日中韓ハーモニーの内容

日本、中国、韓国の3つの国を様々な視点で考察した大学生の発表を見学した。日本人の学生も韓国語で流ちょうに発表していて刺激になった。

12月1日 木曜日

期末テスト

担当 ハン・ジョンヨン先生

内容

・文法

・ライティング

・スピーキング

内容

期末テスト1日目は文法、ライティング、スピーキングだった。スピーキングは個人テストを行った。

12月2日 金曜日

期末テスト

担当 キム・スオク先生

内容

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・リーディング・リスニング・スピーキング |
|--|

内容

2日目のスピーキングのテストは、2人組の会話テストだった。中間テストとは違い、お題に合った文章を作り、練習して暗記する時間は20分間だった。

12月5日 月曜日
テストの復習、スピードゲーム
担当 ハン・ジョンヨン先生、キム・スオク先生
内容 <ul style="list-style-type: none">・期末テストの復習・スピードゲーム

内容

期末テストの復習をした後に、韓国語の単語を韓国語で説明して、当てるというスピードゲームを行った。どのように説明すれば伝わるかという今までとは違う考えで韓国語使ったゲームであった。

12月6日 火曜日
秋期プログラム最終日
担当 キム・スオク先生
内容 <ul style="list-style-type: none">・手紙・賞状・折り紙

内容

秋期プログラムの最後の授業だった。クラスみんなに手紙を書いたり、賞状を送り合ったりした。折り紙で韓服を作った。

12月7日 水曜日
秋期プログラム 修了式
担当 キム・スオク先生
内容 ・修了証書授与 ・表彰式

内容

教室で修了証書授与が行われた。NUIS の学生は、まだ1週間残っていたので受け取れなかった。

教室を移動し、全クラスでの修了式と成績優秀者への表彰式が行われた。クラスのみんなと過ごした2か月間が早いと感じた。

12月8日 木曜日
TOPIK 対応授業 開始
内容 ・リスニング ・リーディング

内容

今日から、NUIS の学生のための TOPIK 対策講座が開始した。リーディングを解いて、先生の解説を受けた。その後、リスニングを行った。リスニングの答え合わせの A とは、先生が話した文章の書きとりを行った。

12月14日 水曜日
特別講義
担当 ホン・ユンギ先生
内容 ・韓国語のニュアンスについて

内容

国際教育院で以前は先生として活躍し、現在は教師の指導を行っているホン・ユンギ先生に授業をしていただいた。外国人には分かりづらい、韓国語のニュアンスについて説明してくださった。

12月15日 木曜日
セミナー 発表
担当 キム・スンミン先生
内容 ・セミナー 個人発表

内容

最後の午後の授業は、セミナーの個人発表だった。それぞれが関心のある韓国について調べてきたことを韓国語でまとめ、韓国語で発表した。日本と韓国を比較したものが多く全員が異なるテーマだったので知らない韓国について学ぶことができた。

12月16日 金曜日
登校最終日
担当 キム・スンミン先生
内容 ・TOPIK 重要単語 ・昼食 副院長との懇談会 ・修了式

内容

TOPIK の出てくる重要単語をまとめたプリントをもらった。また、TOPIK の勉強方法のアドバイスもいただいた。

昼食は副院長先生が買ってくださったお弁当を食べながら、懇談会を行った。自由時間の1週間の過ごし方や韓国の生活で楽しかったことなどについて話した。

昼食後は、修了式が行われ修了証書をもらった。また、NUIS の学生の中で成績上位3名の表彰式も行われ、留学の全日程が終了した。

12月24日 土曜日
帰国

内容

寮を6時半にバスで出発し、仁川空港へ向かった。引率で川上洋子さんが空港まで

21015057
佐々木花純

来てくださった。新潟空港には12時過ぎに到着し、現地解散となった。